

平成 2 1 年度 年度計画進捗状況



公立大学法人都留文科大学

中期計画 (学部)	① 学部・学科、専攻科、研究科・専攻のアドミッション・ポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを明確にし、ホームページなどで公表する。【1】
年度計画 1	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ アドミッション・ポリシーを明確にし、ホームページなどで公表する。 2 ▲ 現行カリキュラムの課題等を明らかにし、カリキュラムポリシーを検討する。 3 ▲ ディプロマポリシーを検討する。 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 3ポリシー検討プロジェクト設置。同検討。 2 3ポリシー検討プロジェクト設置。同検討。 3 3ポリシー検討プロジェクト設置。同検討。 4

中期計画 (学部)	② 教員としての高い資質を持った卒業生を輩出するため、実践的指導力につながる体系的・総合的な教員養成プログラムの開発を進める。(21年度調査・検討、平成22年度実施)【2】
年度計画 2	<ol style="list-style-type: none"> 1 ②▲ 「教職実践演習」の新設に係る課程認定申請を行う。 2 ▲ 「教員養成カリキュラム委員会」を設置する。 3 ▲ 重点研究領域に指定する。 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成21年7月課程認定申請済み。文部科学省において審査中。 2 平成21年4月同委員会設置、(委員長:寺門 日出男教授(国文学科))、12月までに9回の委員会を開催。 3 教職実践演習の新設に伴い、平成22年度入学生より、教職カリキュラムの一部改正、ガイダンス・フォローアップの充実・教員養成ポートフォリオの作成等、重点研究領域として調査・研究を進めている。本年度より事業に関する調査、研究を行っている教職員に対し、戦略経費として重点領域研究費を措置している。 4

中期計画 (学部)	③ 教員就職者数(臨時的任用を含む。)の増加を図り、平成26年度末までに当該年度200名以上を目指す。(21~26年度)【3】
年度計画 3	1 ③▲ 平成21年度末の教員就職者数(臨時的任用を含む。)156名以上を目指す。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 平成22年1月6日現在の教員採用試験2次合格者数79名(昨年実績76名+臨時的任用77名、計153名)愛知県、大阪府等未確認のため2次合格者数は90名程度になる見込み。神奈川県 30名 → 41名、東京都 5名 → 10名増 5名→10名 2 3 4

中期計画 (学部)	④ 全ての学科において教員資格が取得可能となるよう取組む。(21~22年度検討、23年度実施)【4】
年度計画 4	1 ④▲ 比較文化学科生の教職科目取得について、文部科学省と事前相談を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 他学科聴講方式で修得可能との回答有。比較文化学科内で検討中。 2 3 4

中期計画 (学部)	⑤ 教育の成果や効果の検証を行うとともに、その方法について継続的に検討する。(21～26年度)【5】
年度計画 5	1 ⑤▲ GPA(グレードポイントアベレージ)制度を含め教育成果・効果の適切な検証法についての研究に着手する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 在学生の仮GPA(A:3,B:2,C:1,F:0)を算出。データ蓄積済。 2 3 4

中期計画 (学部)	⑥ ステークホルダー(利害関係者。ここでは、学生、保護者、就職先企業・学校等を指す。)調査を計画的に実施し、その分析結果を大学教育に生かす。(21～26年度)【6】
年度計画 6	1 ⑥▲ ステークホルダー調査を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 「学生生活アンケート2007-2009」実施、分析。学生以外の対象者への調査方法について検討を進めている。 2 3 4

中期計画 (学士課程)	① 社会人としての基礎力・人間力の養成を図るため、教養教育の充実に努めるとともに、その教育効果を把握しカリキュラムを柔軟に見直す。(21～26年度)【7】
年度計画 7	1 ①▲ 「テーマ研究」を54科目開設する。 2 ▲ 教養教育の教育効果の把握方法の調査・研究を行う。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 「テーマ研究」を54科目開設済み。共通教育委員会にて22年度検討。 2 在学生の仮GPA(A:3,B:2,C:1,F:0)を算出。データ蓄積。 3 4

中期計画 (学士課程)	② 初年次教育の充実に努める。(21～26年度)【8】
年度計画 8	1 ②▲ TOEIC-bridgeを利用した英語習熟度別クラス編成を行う。 2 ▲ レポートの書き方や図書館利用法などを指導する「基礎セミナー」を実施する。 3 ▲ 全学科の初年次に学術情報リテラシー(活用能力)教育を実施する。 4
平成21年度 進捗状況	1 TOEIC-bridgeで英語習熟度別クラス編成済み。 2 初等教育学科以外の国文学科、英文学科、社会学科、比較文化学科においては既に実施している。 3 初等教育学科、国文学科以外の英文学科、社会学科、比較文化学科において4月下旬から5月初旬にかけて学術情報リテラシー教育を行っている。1回90分を2回実施。 4

中期計画 (学士課程)	③ 学生の実践的・社会的コミュニケーション能力の育成を図る。(21～26年度)【9】
年度計画 9	1 ③▲ 学生の実践的・社会的コミュニケーション能力の育成方法について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 未実施 2 3 4

中期計画 (学士課程)	④ 生涯スポーツとしての基礎を培い、適切な身体運動の必要性を認識し必要な能力を養い学生生活を豊かにする。(21～26年度)【10】
年度計画 10	1 ④▲ 体育科目種目を19科目開設する。 2 ▲ 課外活動に対する顧問教員のあり方を検討する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 体育科目種目を18科目開設済み。 2 学生委員会で検討を進めている。他大学からの情報収集を行う。 3 4

中期計画 (学士課程)	⑤ ICT(情報通信技術)の進歩に対応すると共に、大学での学習や研究に必要な基礎的教養として、実践的な指導を通し情報技術の習得を目指す。また、社会人として必要な情報処理能力の習得に努め、各種情報処理関係資格試験への受験を奨励する。(21~26年度)【11】
年度計画 11	1 ⑤▲ 全学科の初年次学生に学術情報リテラシー教育を行う。 2 ▲ 各種情報処理関係資格試験への受験を奨励する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 初等教育学科、国文学科以外の英文学科、社会学科、比較文化学科において4月下旬から5月初旬にかけて学術情報リテラシー教育を行っている。1回90分を2回実施。 2 情報処理教育の中で資格試験への受験を奨励している。後援会補助実績34件。 3 4

中期計画 (学士課程)	⑥ 外国語教育を効果的・実践的なものとするため、外国語科目の開講形態および授業内容の改善に努める。(21~26年度)【12】
年度計画 12	1 ⑥▲ 外国語科目の開講形態および授業内容の改善に努める。 2 ▲ 「海外語学研修」、「異文化交流」単位取得者の増加を促す。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 MLL機器の更新に伴い、インターネット利用の在宅学習等授業形態の改善を検討している。 2 ハワイ大学への短期語学研修の新設により新たな語学研修の開設と、単位取得者の増加を図った。 3 4

中期計画 (学士課程)	⑦ TOEIC 650以上、又はTOEFL 520以上を目標とし、各学科の実情に応じて、その目標達成学生(PBT)の割合を高める。(21～26年度)【13】
年度計画 13	1 ⑦▲ 入学時に実施するTOEIC-bridgeを活用するなど各学科の実情に応じて、その目標達成学生(PBT)の割合を高めるために、実態把握調査を行う。 2 ▲ TOEIC公開テストを学内で年3回以上実施する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 外国語教育研究センターにて過去3年間の対比データを作成済。6月教授会報告済。TOEIC-IPテスト導入検討中。 2 5月31日、11月29日実施済み。1月31日実施予定。 3 4

中期計画 (学士課程)	① 各学科においては、具体的な人材育成の目標像を明示する。(21年度)【14】
年度計画 14	1 ①▲ 各学科において、具体的な人材育成の目標像を明示する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 3ポリシー検討プロジェクト設置。同検討。 2 3 4

中期計画 (学士課程)	② その実現に向けカリキュラム、教育内容、方法等の改善を行う。(21～26年度)【15】	
年度計画 15	1	②▲ その実現に向けカリキュラム、教育内容、方法等の改善を行う。
	2	
	3	
	4	
平成21年度	1	3ポリシー検討プロジェクト設置。同検討。平成22年度中にカリキュラム改定検討委員会を立ち上げ予定。
	2	
進捗状況	3	
	4	

中期計画 (学士課程)	③ カリキュラム、教育内容、方法等の改善については、学際的な視点及び実社会の中で課題探求能力を身につけられるよう工夫をする。(21～26年度)【16】	
年度計画 16	1	③▲ カリキュラム、教育内容、方法等の改善については、学際的な視点及び実社会の中での課題探求能力を身につけられるよう工夫をする。
	2	
	3	
	4	
平成21年度	1	3ポリシー検討プロジェクト設置。同検討。平成22年度中にカリキュラム改定検討委員会を立ち上げ予定。
	2	
進捗状況	3	
	4	

中期計画 (専攻科)	① 学校教育学を中心に教育現場の課題を授業で取り上げ、その研究を指導する。(21～26年度)【17】
年度計画 17	1 ①▲ 現職教員を特別講師に招き、教育現場の課題を授業で取り上げる。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学校教育基礎研究(初任教職)と中等教育実践演習(中高教職)において現職教員を講師として招き、現場の課題を授業で取り上げている。 2 3 4

中期計画 (専攻科)	② 教員を志望するものがほとんどであるところから、教員志望者の全員採用を目指した指導体制を充実させる。(21～26年度)【18】
年度計画 18	1 ②▲ 教員志望者の教員就職率100%を目指す。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 在学生8名中、教員正規採用3名、臨時採用4名、公務員正規採用1名 2 3 4

中期計画 (専攻科)	③ 卒業生に授業内容に関するアンケート調査を行い授業改善に役立てる。(21～26年度)【19】
年度計画 19	1 ③▲ 卒業生に授業内容に関するアンケート調査を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 本年度中に調査を行う。 2 3 4

中期計画 (修士課程)	① 最新かつ海外の研究成果などを取り入れつつ、留学や研究生制度の充実により、多様な教育研究形態を提供し、実践的な能力を高める。(21～26年度)【20】
年度計画 20	1 ①▲ 多様な教育研究形態の提供に努める。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 未実施 2 3 4

中期計画 (修士課程)	② 現代社会の課題に対応できるよう、理論と実践を結びつける能力を養う。(21～26年度)【21】
年度計画 21	1 ②▲ 現職教員を特別講師に招き、教育現場の課題を授業で取り上げる。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学校現場の「子ども理解カンファレンス」への参加(前期3回)、児童相談所からの講師派遣など実施。 2 3 4

中期計画 (入学者選抜)	① アドミッションポリシー、教育方針と実践及び成果に関して情報を発する大学案内やホームページ等の各種媒体を常に見直し、充実を図り、入試志願者数4,500名以上を確保する。(21～26年度)【22】
年度計画 22	1 ①▲ 入試別に求める人材像を明らかにし、大学案内、ホームページを通し高校・予備校に発信する。 2 ▲ 平成22年度入試志願4,427名以上を目指す。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 3ポリシー検討プロジェクト設置。 2 大学案内に求める学生像について記載している。志願者確保に向け積極的に高校訪問を実施するとともに大学説明会等への参加している。現在413校 3 4

中期計画 (入学者選抜)	② オープンキャンパス参加高校生の増加(平成26年度末で夏季1000名以上・秋季200名以上)を図る。(21～26年度)【23】
年度計画 23	1 ②▲ オープンキャンパス参加高校生数の増加を図り、夏季832名以上・秋季172名以上を目指す。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 夏季オープンキャンパスを平成21年7月25日(土)に実施。 県外560名 県内376名 合計936名を集める。秋季オープンキャンパス10月15日～27日の8日間開催、217名が参加 2 3 4

中期計画 (入学者選抜)	③ 目的に応じた全国の高校訪問年間累計400校、さらに出前講座、学生メッセージなど幅広い取り組みを通じ、都留文科大学の魅力を県内外の受験生に伝える。(21～26年度)【24】
年度計画 24	1 ③▲ 高校訪問を夏休み前・推薦入試直後の2回に分け、累計400校について行う。 2 ▲ 出前講座を年10講座以上実施する。 3 ▲ 学生メッセージ制度の整備を行う。 4
平成21年度 進捗状況	1 高校訪問等数10月末現在413校(内訳:高校訪問338校、模擬授業17校、大学説明会58校) 2 出前講座は既に11講座以上実施している。 3 学生メッセージについては、春休み中の実施に向け準備を進めている。 4

中期計画 (入学者選抜)	④ 訪問した高校の実態に関するデータベースを形成し、高校訪問の効率化を図る。(21～22年度作成、23年度～運用)【25】
年度計画 25	1 ④▲ 21年度に訪問する高校について、適切な項目構成によりデータベースを作成する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 訪問した高校について、国公立大学合格者数、本学出身の教職員の有無など入試に係る数項目について調査を行い、高校別データベースの作成を開始した。 2 3 4

中期計画 (入学者選抜)	⑤ 社会人等の入学者受入れのため、多様な選抜方法のあり方を検討し、改善を図る。(21～26年度)【26】
年度計画 26	1 ⑤▲ 社会人、現職教員の受け入れについて、選抜の方法のあり方を検討する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 入試制度委員会にて検討することとしているが、学部については未検討。大学院においては社会人、現職教員の受け入れを実施している。 2 3 4

中期計画 (入学者選抜)	⑥ 本学への入学志望の外国人留学生への広報活動を強化し、選抜方法の多様化を図る。(21～26年度)【27】
年度計画 27	<ol style="list-style-type: none"> 1 ⑥▲ 首都圏大学の合同説明会に参加する。 2 ▲ 英語版ホームページの充実を図る。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 現状未参加、今後積極的に参加することとする。 2 英語版ホームページは、情報センター、ホームページ検討委員会を中心に検討を進める。 3 4

中期計画 (入学者選抜)	⑦ 社会情勢や受験者の意識等を分析した上で、入試毎に特色ある入学者を確保すべく入試方法や体制の更なる充実を図る。(21～26年度)【28】
年度計画 28	<ol style="list-style-type: none"> 1 ⑦▲ センター入試利用の推薦入試制度の導入に向け準備を行う。 2 ▲ 大手受験予備校から情報収集を行う。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 本年度から英文学科でAO入試を実施。平成23年度入試からセンター試験利用の推薦入学試験を初等教育学科、比較文化学科で導入を決定。 2 入試・広報セミナー(Go to school)に2日間参加し、情報収集を行った。 3 4

中期計画 (入学者選抜)	⑧ 推薦入学者を対象とした、入学前教育の充実を図る。(21～26年度)【29】
年度計画 29	<ol style="list-style-type: none"> 1 ⑧▲ 入学者受け入れの妥当性を検証するため、入試・成績・進路を網羅したデータベースを作成する。 2 ▲ 推薦入学者を対象とした、入学前教育についての研究・調査を行う。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 既に作成済み。 2 初等教育学科においては、既に実施している。英文学科については本年度から導入。他学科においても導入を検討、またその効果について調査する。 3 4

中期計画 (学士課程)	① 各学科ともそのアイデンティティを発揮し、それぞれの学科の特質を備えた学生の育成を目標としたカリキュラム・ポリシーを明確化し、カリキュラムの改善を図る。(21～26年度)【30】
年度計画 30	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ 学科ごとにカリキュラムポリシーを明確化する。 2 ▲ 学科ごとにカリキュラムの現状を把握し、その改善を図る。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 3ポリシー検討プロジェクト設置。同検討。 2 3ポリシー検討プロジェクト設置。同検討。 3 4

中期計画 (学士課程)	② 1年次から4年次にわたる計画的なキャリア教育を実施する。(21～26年度)【31】	
年度計画 31	1	②▲ 就職対策講座の充実を図る。
	2	
	3	
	4	
平成21年度	1	キャリア形成論通年1コマ実施済。教員27、公務員25、企業21講座開設。
	2	
進捗状況	3	
	4	

中期計画 (学士課程)	③ 諸資格教育の充実を図る。【32】	
年度計画 32	1	③▲ 図書館司書資格に係る法改正に対応する。
	2	▲ 資格取得科目の拡大・充実を図る。
	3	
	4	
平成21年度	1	図書館司書資格に係る法改正の対応に向けた教員採用の公募を行い、平成22年4月1日付採用予定者を決定した。
	2	全学的環境教育プログラム導入の検討。CONE(自然体験活動リーダー)資格取得検討中
進捗状況	3	
	4	

中期計画 (学士課程)	④ カリキュラムは常に総合性と専門性のバランスがとれた体系的なものとなるよう点検・評価を実施する。(21～26年度)【33】
年度計画 33	1 ④▲ カリキュラムの点検・評価の実施計画を作成する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 次年時のカリキュラム検討委員会設置に向けた諸準備を行っている。 2 3 4

中期計画 (学士課程)	① 少人数授業や基礎演習・実験・実習・演習授業を重視すると共に、フィールドワークなどの体験型授業や、参加型授業を拡大する。また、ICTの活用等を積極的に導入する。(21～26年度)【34】
年度計画 34	1 ①▲ フィールドワークなどの体験型授業や、参加型授業を拡大する。 2 ▲ ICTを活用した授業展開が可能な教室数を増加する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 河口湖水質、夏狩湧水群保全、小学校林整備などフィールドワーク実施済。 2 1号館216教室(定員114人)にプロジェクター設置。13教室で使用可能。 3 4

中期計画 (学士課程)	② シラバスについては、授業内容、授業の進め方、獲得目標、成績評価の方法などを記載し、効果的なものとする。(21年度検討、22年度実施)【35】
年度計画 35	1 ②▲ シラバスについては、各科目の到達目標、学習内容、成績評価の方法及び基準、準備学習の内容を具体的に指示する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 新年度のシラバス作成時に各学科に記載例を示し、実現を図る。 2 3 4

中期計画 (学士課程)	③ 地域社会との連携を有効活用できる教育方法の開発に積極的に取り組む。(21～26年度)【36】
年度計画 36	1 ③▲ サービスラーニングの導入を検討する。 2 ▲ SATの充実・拡大を図る。 3 ▲ 地域型フィールドワークを充実する。 4
平成21年度 進捗状況	1 学内で月1回定期的にボランティア広場を開催し、市社協と学内ボランティア団体代表との情報交換会を行っている。 2 延べ参加学生数281名で目標245名を達成。 3 河口湖水質、夏狩湧水群保全、小学校林整備などフィールドワーク実施済。 4

中期計画 (学士課程)	④ ポートフォリオ(成長記録集)の導入について検討し、実施する。(21年度調査・検討、22年度実施)【37】
年度計画 37	1 ④▲「教職実践演習」に係るポートフォリオ(成長記録集)について調査・研究する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 平成21年度学内学術研究費等交付金申請済み。先進地(広島大学、兵庫教育大学)調査、検討。 2 3 4

中期計画 (専攻科)	① 小中学校など学校現場での交流や見学等を通じ、広い視野から教育の実践的な課題に対応できるようカリキュラムの充実に努める。(21～26年度)【38】
年度計画 38	1 ①▲小中学校など学校現場での交流や見学等を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 「学校教育参加」により年間3回学校現場を訪問、実地研究。 2 3 4

中期計画 (専攻科)	① 現職教員等を講師に迎え、教育現場の課題を積極的に授業で取り上げる。(21～26年度)【39】
年度計画 39	1 ①▲ 現職教員等を講師に迎え、教育現場の課題を積極的に授業で取り上げる。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 教科教育特別演習 I で現職教員1名を招聘。 2 3 4

中期計画 (修士課程)	① 大学院生の進路希望等に応じ、履修科目群の設定や履修方法について各専攻の独自性を持たせながら、常にカリキュラムを改善する。(21～26年度)【40】
年度計画 40	1 ①▲ 大学院生の進路希望等に応じ、履修科目群の設定や履修方法について各専攻の独自性を持たせながら、常にカリキュラムを改善する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 大学院研究科委員会内の担当委員会で検討中。 2 3 4

中期計画 (修士課程)	② 現職教員に対するカリキュラムについては、主に実践的課題に対応できる科目を設置し、その修学状況を考慮し、できる限り効果的な指導体制をとる。(21～26年度)【41】
年度計画 41	1 ②▲ 現職教員に対するカリキュラムについては、主に実践的課題に対応できる科目を設置し、その修学状況を考慮し、できる限り効果的な指導体制をとる。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 大学院研究科委員会内の担当委員会で検討中。 2 3 4

中期計画 (修士課程)	③ 論文指導を計画的に行う体制を整える。(21年度)【42】
年度計画 42	1 ③▲ 修士論文指導を計画的に行う体制を整える。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 大学院研究科委員会内の担当委員会で検討中。 2 3 4

中期計画 (修士課程)	④ 他大学との連携を推進する。(21～26年度)【43】
年度計画 43	<ol style="list-style-type: none"> 1 ④▲ 「大学コンソーシアムやまなし」による「単位互換」や「高校と大学の連携」事業などを推進する。 2 ▲ 大学院の社会学地域社会専攻による「単位互換」に引き続き取り組む。 3 ▲ 教員養成や特別支援教育など「特定研究課題」や「大学院の共同設置」など他大学との連携の可能性を探る。 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 8月11日の「コンソーシアムやまなし」のよる高大連携事業としての大学教員、高校教員の意見交換会への参加。9月29日の大学説明会に参加。 2 「大学院社会学分野の単位互換制度」に参加。 3 10月28日山梨大学特別支援教育専攻科出張説明会実施。 4

中期計画 (修士課程)	① TA(Teaching Assistant: 授業補助者)制度の一層の推進を図り、学部学生との交流を深める中で自らの知識の確認や社会性及び指導力の養成を行う。(21～26年度)【44】
年度計画 44	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ TA15名以上を確保する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 TA17名(49科目)実施済。 2 3 4

中期計画 (修士課程)	② RA (Research Assistant) 制度の導入を検討し、実施する。(21～22年度検討、23年度実施)【45】	
年度計画 45	1	②▲ RAを重点研究領域の補助員として活用するなど、大学院の活性化策と合わせて検討する。
	2	
	3	
	4	
平成21年度	1	未実施
	2	
進捗状況	3	
	4	

中期計画 (修士課程)	③ 修了生からの意見等を通じ、教職現場での必要な教育内容等を調査し、常に教育内容や教育方法を改善していく。(21～26年度)【46】	
年度計画 46	1	③▲ 修了生アンケートを実施する。
	2	
	3	
	4	
平成21年度	1	修了生アンケートの作成、実施。(ステークホルダー関連)
	2	
進捗状況	3	
	4	

中期計画 (修士課程)	④ 留学制度や通信制など実現可能な新たな教育方法を検討する。(21～26年度)【47】
年度計画 47	1 ④▲ 留学制度や通信制など実現可能な新たな教育方法を検討する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 未実施。 2 3 4

中期計画 (修士課程)	⑤ eラーニングなど多様な授業形態の検討を行い、実施する。(21～22年度検討、23年度実施)【48】
年度計画 48	1 ⑤▲ 現有のMLL(マルチメディアLL教室)機能のインターネットを介した活用を検討する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 H22.10月のMLL機器更新時に eラーニングを導入を決定。 2 3 4

中期計画	① 大学の理念・目標を実現するため、学長のリーダーシップのもと、中長期的な展望に立った適切な教員やTAの配置を検討し、機能的な教育研究組織を構築する。(21～26年度) 【49】
年度計画 49	1 ①▲ 教職員配置計画を策定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学長から教育研究審議会に対し教員配置計画を提示、これに基づき平成22年4月1日付け採用予定教員の公募を行い、専任教員2名、特任教員1名を採用予定。 2 3 4

中期計画	② 民間企業、行政機関及び各種団体などから積極的に講師の派遣を求めるとともに、多様な任用制度を導入する。(21～26年度)【50】
年度計画 50	1 ②▲ 外部講師の受入れを促進する。 2 ▲ 非常勤教員について多様な任用制度を検討する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 キャリア形成論・情報教育等に外部講師を導入している。 2 特任教員に関する規程を整備し、教育・研究また大学の業務運営に必要な任期付教員の採用を行うこととした。国文学科において平成22年4月1日付特任教授1名を採用予定。 3 4

中期計画	③ 学生の支援体制については、様々な状況に応じ、きめ細やかな対応ができるよう、専門職員等の配置を充実する。(21～26年度)【51】
年度計画 51	1 ③▲ 教務学生相談員を配置する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 教務学生相談員1名配置済。増員について検討中。 2 3 4

中期計画	④ FD(ファカルティ・ディベロップメント)を通じ教員研修の充実を図ると共に、授業内容、形態、方法の改善を図る。(21～26年度)【52】
年度計画 52	1 ④▲ 「授業の工夫」アンケートを実施し、その活用を図る。 2 ▲ 学生の授業評価アンケートを実施し、その活用を図る。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 「授業工夫アンケート」は平成21年度において実施、学内公表し授業の質の向上を図る。 2 学生の授業評価アンケートを前期、後期各1回実施。前期の実施率は専任教員61%、非常勤講師47%であった。 3 4

中期計画	① 施設整備計画に基づき教育研究環境の更なる整備を図る。(21～26年度)【53】
年度計画 53	1 ①▲ 施設整備計画(6年間)を策定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 施設整備計画検討プロジェクトを発足させ、中期計画期間中の整備計画書の策定を進めている。 2 3 4

中期計画	② 附属図書館・情報センターにおいては、ソフト面の充実を図り、学生の自学自習を支援する。(21～26年度)【54】
年度計画 54	1 ②▲ 雑誌データの図書館システムへの登録遡及事業を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 雑誌データの図書館システムへの登録については、段階的に作業を進めている。 2 貴重資料のデジタル化については準備段階である。 3 4

中期計画	③ 本学で生産された様々な教育研究成果物を収集・保管・発信するインターネット上の公開書庫(機関リポジトリ)構築について検討し、実施する。(21年度検討、22年度実施)【55】
年度計画 55	1 ③▲ 貴重資料のデジタル化による公開の可能性について検討を開始する。 2 ▲ 機関リポジトリ構築について検討し、順次可能なものから実施する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 貴重資料のデジタル化等は現在準備検討中である。 2 機関リポジトリの構築は、本年度準備検討を行い、平成22年度後期から運用開始予定である。 3 4

中期計画	④ 県民コミュニティカレッジ、市民公開講座などを通じて、学生と地域の人々が共に学ぶ場を提供する。(21～26年度)【56】
年度計画 56	1 ④▲ 県民コミュニティカレッジ4講座を実施する。 2 ▲ 市民公開講座5講座を実施する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 県民コミュニティカレッジ「文学作品を通して現代日本の諸問題を考える。」をテーマに10月6日から27日までに4回開講し、67名が受講した。 2 市民公開講座 市内小学生親子を対象に夏休み期間中に理科教室を開催。 3 4

中期計画	⑤ 共通外国語科目の運営及びその内容の充実を目的とする外国語教育研究センターの充実を図り、外国語教育の理念・方法に関する各種研究会を継続的に開催する。(21～26年度)【57】
年度計画 57	1 ⑤▲ 外国語教育研究センター主催の各種研究会を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 外国語教育非常勤講師向けにMLL機器の活用方法、教材利用法等について研究会を7/20に実施済。2回目を2月実施予定。 2 3 4

中期計画	⑥ 現行のアメリカ・カナダ・中国の大学との交換留学・認定留学、海外語学研修プログラムなどを見直し、更なる充実を図る。(21～26年度)【58】
年度計画 58	1 ⑥▲ カリフォルニア大学との交換留学を拡大する。 2 ▲ 湖南師範大学との交換留学の見直しを図る。 3 ▲ ハワイ大学への短期語学研修を開始する。 4
平成21年度 進捗状況	1 留学枠10名を12名に拡大済。 2 国際交流・留学委員会において協定見直し作業中。 3 H22.3月実施決定。11月9日まで募集。14名応募あり。 4

中期計画	⑦ フィールドワークを含めた各種教育活動に関わる危機管理体制の整備・充実を図る。(21～26年度)【59】
年度計画 59	<ol style="list-style-type: none"> 1 ⑦▲ 海外における留学やフィールドワーク中の事故に備え、総合保険制度へ加入する。 2 ▲ 学内の危機管理体制を整える。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 交換留学、語学研修参加学生は加入済。他の関係学生への拡大検討中。 2 渡航制限ガイドライン策定済。 3 4

中期計画	① FD(ファカルティ・ディベロップメント)を通じ教員研修の充実を図ると共に、授業内容、形態、方法の改善を図る。(21～26年度)【60】
年度計画 60	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ 「授業の工夫」アンケートを実施し、その活用を図る。 2 ▲ 学生の授業評価アンケートを実施し、その活用を図る。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 「授業工夫アンケート」は昨年実施、学内公表し授業の質の向上を図る。 2 学生の授業評価アンケートを前期、後期各1回実施。前期の実施率は専任教員61%、非常勤講師47%であった。 3 4

中期計画	② 学生の勉学意欲の向上に資するため、授業科目の達成目標や成績評価基準を明示する。(21年度)【61】
年度計画 61	1 ②▲ シラバスの改善を通じて、授業科目の達成目標や成績評価基準を明示する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 新年度シラバス作成時に各教員に事例を添付し指示予定。 2 3 4

中期計画	③ 学部・学科、専攻科、研究科・専攻のディプロマポリシーを明確にし、公表する。(21～22年度)【62】
年度計画 62	1 ③▲ ディプロマポリシーを検討する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 3ポリシー検討プロジェクト設置。同検討。 2 3 4

中期計画	④ 学生の学習意欲を高める成績評価システムを構築する。(21～26年度)【63】
年度計画 63	1 ④▲ GPA(グレードポイントアベレージ)制度について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 在学生の仮GPA(A:3,B:2,C:1,F:0)を算出。データ蓄積済。 2 3 4

中期計画	⑤ 教育関係機関、教育関係者との連携により、学校現場で抱える課題を適切に捕らえ、研究し、その成果を教育に反映するためのシステム構築を図る。(21～26年度)【64】
年度計画 64	1 ⑤▲ 市教育研修センターと本学の地域教育相談室との連携を強化する。 2 ▲ 山梨県地域教育フォーラム南都留集会への協力する。 3 ▲ SAT運営委員会を年2回以上開催する。 4 ▲ 教育実習連絡協議会を年2回以上開催する。
平成21年度 進捗状況	1 必要に応じ協議を行っている。 2 10/29実施、教員7名派遣。 3 5/1実施済。2回目はH22.3月実施予定。 4 7/27実施済。2回目はH22.2月実施予定。

中期計画	⑥ 卒業生・雇用先の就職後の意識調査(教員であれば現状の問題等)等の実態調査を計画的に行い、その結果を分析し今後の大学運営に反映していく。(21～26年度)【65】
年度計画 65	1 ⑥▲ 「卒業生の就職後の意識調査」を実施し、分析・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 「卒業生の就職後の意識調査」を実施し、分析・検討する。 2 3 4

中期計画	① 開講科目の授業評価を実施し、自己点検・評価、及び外部評価等を活用した適切な評価システムを構築し、評価結果を有効に活用する。(21～26年度)【66】
年度計画 66	1 ①▲ 受講生10名以上の全開講科目の授業評価アンケートを実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学生の授業評価アンケートを前期、後期各1回実施。前期の実施率は専任教員61%、非常勤講師47%であった。 2 3 4

中期計画	② 自己点検・評価を隔年毎に、外部評価を3年に1回行う。(21～26年度)【67】
年度計画 67	1 ②▲「評価システム」の調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 評価担当学長補佐を設置し、評価委員会において調査、検討を進めている。「自己評価の実施方針の策定」を進めている。 2 3 4

中期計画	① 不登校学生への対応を幅広く検討し、カウンセリング職員など適切な人材確保に努めるとともに、学生生活における諸問題の解決に向け早期に対応できる体制を整える。(21年度)【68】
年度計画 68	1 ①▲ 教務学生相談員を2名配置する。 2 ▲ 学生心理相談員の配置を1日2名体制とする。 3 ▲ 教務学生相談員と学生心理相談員との連携を深める。 4
平成21年度 進捗状況	1 教務学生相談員1名配置済。増員について検討中。 2 常勤1名、非常勤1名で実施済。 3 学生担当リーダーがケース毎に対応。 4

中期計画	② 保健管理室のセンター化について検討し、実施する。(21～26年度)【69】
年度計画 69	1 ②▲ 産業医の設置、保健師若しくは看護師の採用等人的体制の充実について検討する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 法人化に伴い、4月1日から都留市立病院医師を産業医に委嘱している。保健師、看護師の確保については今後の検討課題。新型インフルエンザ対策として平成22年11月～12月非常勤保健師1名を配置した。 2 3 4

中期計画	③ 入学から卒業まで、全学生に対する教員による個別指導体制の構築を図る。(21年度)【70】
年度計画 70	1 ③▲ 入学から卒業まで、全学生に対する教員による個別指導体制の構築を図る。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 1年生、2年生は、担任制により担当教員が対応し、3年生、4年生は、卒業論文指導教官が対応している。 2 3 4

中期計画	④ オフィスアワーを設定し、学生の支援体制を整備する。(21年度)【71】
年度計画 71	1 ④▲ オフィスアワーを設定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 教職員向け理事長オフィスアワー前期4回実施、後期は7回実施予定。学生、教職員向け学長、副学長オフィスアワーは、後期7回予定。各教員にも実施に向けて働きかける。 2 3 4

中期計画	⑤ 三者協議(学生、教員、職員)などで学生の意見収集を行い、学生生活に対する要望等を把握し、大学運営に活かす。(21～26年度)【72】
年度計画 72	1 ⑤▲ 三者協議の場を年2回以上設定する。 2 ▲ 学生が実施するアンケート調査などを大学運営に活用する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 10月14日、学生代表、教員、事務局職員による三者協議を実施。2回目は1月27日予定。 2 学生アンケート結果について説明を受け、実施の可否について検討をしている。学内ポータルサイトで回答を公開予定。 3 4

中期計画	① 就職を希望する学生を支援するため、キャリアサポート室のセンター化を検討するとともに、学部・専攻科・研究科と密接に連携しながら、きめ細かな就職指導や就職ガイダンス、適性検査、模擬試験、求人情報の提供などを行い、就職率(就職者数(進学者を含む。)÷卒業生数×100)を平成26年度までに85%以上に高める。(21~26年度)【73】
年度計画 73	1 ①▲ キャリアサポート室のセンター化を検討する。 2 ▲ 平成21年度末の就職率(就職者数(進学者を含む。)÷卒業生数×100)81.5%以上を目指し、就職指導、就職ガイダンス、適性検査、模擬試験、求人情報の提供などを行う 3 4
平成21年度 進捗状況	1 検討中。 2 キャリア形成論通年1コマ実施済。教員27、公務員25、企業21講座開設。 3 4

中期計画	② 企業、行政機関などへのインターンシップの実施など幅広い取り組みを進める。(21~26年度)【74】
年度計画 74	1 ②▲ インターンシップ事業の推進を図る。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 環境・コミュニティ専攻でインターンシップを必修化済。 2 3 4

中期計画	③ 就職アドバイザーが一人ひとりの学生の相談に応じて進路決定を支援する。(21～26年度)【75】
年度計画 75	<ol style="list-style-type: none"> 1 ③▲ 就職アドバイザーの充実を図る。 2 ▲ OB, OGを就職アドバイザーに起用する。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 8～9月に1名教職相談員に雇用済。 2 OB, OGを就職アドバイザー起用にに向けて準備を行っている。4/25学生との懇談会、5/9模擬面接体験会実施済。11/24教員志望者特別講座(出身県、ブロック別)を同窓会員が講師となり実施済。 3 4

中期計画	④ 就職支援のため本学の後援会や各同窓会支部との連携及び組織強化を図る。(21～26年度)【76】
年度計画 76	<ol style="list-style-type: none"> 1 ④▲ 就職支援のための後援会補助を実施する。 2 ▲ 本学同窓会との連携事業の充実を図る。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 各種研修会実施経費へ後援会補助。就職活動宿泊費半額助成。 2 4/25学生との懇談会、5/9模擬面接体験会実施済。11/24教員志望者特別講座(出身県、ブロック別)を同窓会員が講師となり実施済。 3 4

中期計画	⑤ 卒業生の就職後の意識調査(教員であれば現状の問題等)等を通して、教育の成果や効果を明らかにし、今後の取り組みに活用する。(21～26年度)【77】
年度計画 77	1 ⑤▲ 「卒業生の就職後の意識調査」を実施し、分析・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 「卒業生の就職後の意識調査」を実施する。 2 3 4

中期計画	⑥ 社会に出てから様々な問題を抱える卒業生に対し、相談体制を整備する。(21年度)【78】
年度計画 78	1 ⑥▲ キャリアサポート室を卒業生の相談窓口として整備する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 キャリアサポート室を卒業生の相談窓口として整備する。 2 3 4

中期計画	⑦ 卒業後4年間の各卒業生の状況を把握し、適切なアフターケアをすると共に、そのデータベース化に努める。(21～26年度)【79】
年度計画 79	1 ⑦▲ 卒業生の就職情報をデータベース化する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 卒業生の卒業後の住所入力作業中。 2 3 4

中期計画	① 奨学資金の獲得に努め、経済的な支援体制を整備する。(21～26年度)【80】
年度計画 80	1 ①▲ 奨学金情報を集約化し一元的に提供する。 2 ▲ 卒業生や市民、都留市出身者等からの寄附金により自前の奨学金制度を創設する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 奨学金説明会実施済 2 検討中 3 4

中期計画	② 授業料、入学金について減免制度の改善を図る。(21年度見直し、22年度実施)【81】
年度計画 81	1 ②▲ 授業料、入学金について減免制度の見直しを図る。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 外国人私費留学生分の授業料について一部を見直し、学生生活調査等の分析、検討を学生委員会で実施。 2 3 4

中期計画	③ 大学院生の経済的自立を支援するため、TAの拡充、RAの創設について検討し、実施する。(21～22年度検討、23年度実施)【82】
年度計画 82	1 ③▲ TA15名以上。 2 ▲ RA制度導入に向け調査・検討を行う。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 TA17名(49科目)実施済。 2 未実施 3 4

中期計画	① 社会人や外国人留学生に対し、良好な環境で学習できるよう、校内のみならず、生活するうえでの様々な障害を取り除くためのサポート体制を用意するとともに、学生のニーズを注意深く受け止めながらサービスの向上を図る。(21～26年度)【83】
年度計画 83	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ 社会人学生の学修状況について学生課で把握し支援する。 2 ▲ 外国人留学生については、国際交流・語学研修室が窓口となり支援する。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 未実施 2 宿舍の斡旋・管理、備品貸与。歓迎会、送別会の実施。スピーチ会の開催等。 3 4

中期計画	① 学生の主体的活動を支援するためのシステムを構築する。(21～26年度)【84】
年度計画 84	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ 後援会事業の拡充を支援する。 2 ▲ 課外活動に対する顧問教員のあり方を検討する。 3 ▲ 「学生チャレンジプロジェクト」を新たに制度化する。 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 未実施 2 学生委員会で検討を進めている。 3 大学創造支援費に学生の自主活動を支援する予算科目を新設し「学生チャレンジプロジェクト」として公募し、5件の申請があり採択の予定である。 4

中期計画	② 全国大会等で活躍した学生に対する資金的援助を含めた支援体制を整備する。(21～26年度)【85】
年度計画 85	1 ②▲後援会事業の拡充を図る。 2 ▲ 学長表彰制度を設ける。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学生表彰規程を整備済み。 2 3 4

中期計画	① 現代社会における人間・社会のあり方に関わる諸問題の解明と解決を目指して、各研究者が多様な学問分野において基礎的・実践的な研究を行う。(21～26年度)【86】
年度計画 86	1 ①▲ 現代社会における人間・社会のあり方に関わる諸問題の解明と解決を目指して、各研究者が多様な学問分野において基礎的・実践的な研究を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 格差社会、環境、ジェンダー等各分野を研究。 2 3 4

中期計画	② 各学科はその特性を生かし、先進的・創造的な研究成果を生み出すことを重視する。(21～26年度)【87】
年度計画 87	1 ②▲ 各学科において先進的・創造的な研究成果を生み出す。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 実行中 2 3 4

中期計画	③ 学術論文や書籍等の刊行物による研究成果の公表を積極的に行う。(21～26年度)【88】
年度計画 88	1 ③▲ 出版助成制度を活用する。 2 ▲ 機関リポジトリ構築について検討する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 本年度から出版助成に関する規程を整備し、制度を導入本年度は3件の応募者があり、規定に基づき選考中である。 2 機関リポジトリの構築は、本年度準備検討を行い、来年度後期から完全運用開始予定である。(一部、研究紀要等を公開している。) 3 4

中期計画	④ 地域研究などの分野について重点研究領域を設定し、研究成果をふまえた社会的な提言や地域社会への助言等を奨励する。(21～26年度)【89】
年度計画 89	1 ④▲「教育現場が抱える現代的課題」を重点研究領域とする。 2 ▲「環境」を重点研究領域とする。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 未実施 2 未実施 3 4

中期計画	⑤ 研究成果を学生や社会、地域へフィードバックするために、各専門分野における実践現場との連携を強化する。(21～26年度)【90】
年度計画 90	1 ⑤▲ 各専門分野における実践現場との連携を強化する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 河口湖水質、夏狩湧水群保全、小学校林整備などフィールドワーク実施済。 2 3 4

中期計画	⑥ 研究集会、シンポジウム等の開催、参加により研究交流の質的・量的な拡大を目指す。(21～26年度)【91】
年度計画 91	1 ⑥▲ 研究集会、シンポジウム等を開催する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 各種研究会、シンポジウムを実施している。 2 3 4

中期計画	① 学科における教員構成を適宜見直し、適正な配置になるよう改善を図る。(21～26年度)【92】
年度計画 92	1 ①▲ 教職員の人事配置計画(6年間)を策定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 実施済み。 2 3 4

中期計画	② 大学院生のRA制度を検討し、実施する。(21～22年度検討、23年度実施)【93】
年度計画 93	1 ②▲ RA制度導入に向け調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 未実施 2 3 4

中期計画	③ 現行の学外研修制度の見直しを行い、その拡充を図る。(21～22年度検討、23年度実施)【94】
年度計画 94	1 ③▲ 現行の学外研修制度を見直す。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 今年度規程の一部を改正実施。 2 3 4

中期計画	④ 教員の博士学位の取得を奨励する。(21～26年度)【95】
年度計画 95	1 ④▲ 教員の博士号の取得を奨励する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 昇任選考内規等の改正において、博士号取得者の昇任への配慮を行う。 2 3 4

中期計画	⑤ 外部資金を活用した学内外での研究活動を奨励する。(21～26年度)【96】
年度計画 96	1 ⑤▲ 外部資金を活用した学内外での研究活動を奨励する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 大学創造支援費を設置、インセンティブ経費として外部資金獲得者に対して、大学独自の補助金を交付する仕組みを構築し、外部資金を活用した研究活動を奨励することとした。10月末現在該当者1名。 2 3 4

中期計画	⑥ 科学研究費の申請率を高める。(平成26年度常勤教員80%以上)【97】
年度計画 97	1 ⑥▲ 科学研究費の申請率を高める。(平成21年度55%) 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 大学創造支援費、外部資金獲得インセンティブ経費の中に、科学研究費申請者に対し、その経費を助成する予算を計上し申請率を高めることとした(35名対象、49%)。9月30日に日本学術振興会職員を講師に招き、教員向けに科学研究費に関する研修会を実施した。 2 3 4

中期計画	⑦ 研究成果などを電子化し、ホームページを通じて積極的に公表する。(21～26年度)【98】
年度計画 98	1 ⑦▲ 研究成果などを電子化し、ホームページを通じて積極的に公表する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 研究紀要の電子化を順次進めている。 2 3 4

中期計画	⑧ 本学で生産された様々な教育研究成果物を収集・保管・発信するインターネット上の公開書庫(機関リポジトリ)構築について検討し、実施する。(21年度検討、22年度実施)【99】
年度計画 99	1 ⑧▲ 機関リポジトリ構築の可能性について検討し、順次可能なものから実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 機関リポジトリの構築は、本年度準備検討を行い、来年度後期から運用開始予定である。【55】 2 3 4

中期計画	⑨ 研究活動の活性化と質の向上を目的とした研究費配分システムを構築する。(21～26年度)【100】
年度計画 100	1 ⑨▲ 研究費配分システムについて調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 これまでの一律同額の研究費から大学創造支援費の教育研究費の内に、若手教員研究促進費、新任教員スタートアップ経費、重点領域研究経費、特別教育研究経費などの多様な研究資金を配置し、配分システムを構築し研究を奨励することとした。 2 3 4

中期計画	① 地域交流研究センターの体制を整備し、地域問題に深く携わり研究成果を都留市をはじめ広く社会に還元する。(21～26年度)【101】
年度計画 101	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ 地域交流研究センターのあり方について検討する。 2 ▲フィールドミュージアム▲SAT▲地域教育相談 3 ▲ フィールド・ミュージアム・カフェ▲ センター通信、フィールドノートの発行 4 ▲地域情報教育▲ボランティア広場▲放課後子ども広場
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 外部委員として市民代表1名をセンター運営委員に加え、地域貢献策について検討中。 2 外部委員として市民代表1名をセンター運営委員に加え、地域貢献策について検討中。 3 外部委員として市民代表1名をセンター運営委員に加え、地域貢献策について検討中。 4 外部委員として市民代表1名をセンター運営委員に加え、地域貢献策について検討中。

中期計画	① 市内小中学校との連携・協力によりSAT事業の充実に努め、平成26年度までに当該年度延べ250名以上の学生派遣を促進する。(21～26年度)【102】
年度計画 102	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ SAT運営協議会を年2回以上開催する。 2 ▲ 平成21年度SAT派遣学生延べ数245名以上を目指す。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 5/1実施済。2回目はH22.3月実施予定。 2 延べ参加学生数281名で目標245名を達成。 3 4

中期計画	② 現職教員への公開講座等、教育力と資質を高めるための研修機会の積極的な提供と、実施内容の拡充を図る。(21～26年度)【103】
年度計画 103	<ol style="list-style-type: none"> 1 ②▲ 現職教員公開講座を開催する。 2 ▲ 山梨県地域教育フォーラム南都留集会へ協力する。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 現職教員公開講座を開催(8月上旬)、県の教員10年研修の対象講座となっている。参加教員52名。 2 10/29実施、山梨県地域教育フォーラム南都留集会に学長以下多くの教員が協力、参加した。(教員7名派遣。) 3 4

中期計画	③ 市教育委員会、教育研修センターと連携し教員養成系大学としての知的資源を活用し、教育現場が抱える現代的課題に対応する教育相談の充実を図り、平成26年度末までに当該年度延べ400件以上の相談に対応する。(21～26年度)【104】
年度計画 104	<ol style="list-style-type: none"> 1 ③▲ 平成21年度地域教育相談延べ件数377件以上の対応を目指し、体制を整備する。 2 ▲ SAT-Cタイプの充実を図る。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 11/5地域教育相談室主催公開講座実施済。50名参加。 2 SAT-Cタイプ31名派遣。(前年度29名) 3 4

中期計画	④ 学校インターンシップやボランティアを通じて授業などの学校現場活動への学生の参加を促進する。(21～26年度)【105】
年度計画 105	1 ④▲ 学校インターンシップ10名以上派遣する。 2 ▲ 学校ボランティアの派遣を促進する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 八王子市6名、笛吹市9名、富士吉田市1名、大月市(県特支教育)4名の計20名を派遣。 2 市教育センター主催の人材バンクへ登録推奨。 3 4

中期計画	⑤ 地域イントラネットを活用した小学校、中学校、高校との遠隔授業の充実に努める。(21～26年度)【106】
年度計画 106	1 ⑤▲ 地域イントラネットを活用した市内小中学校との遠隔授業を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 試行的に市内小・中学校向け遠隔授業を行っている。 2 3 4

中期計画	⑥ 出前講座を活性化し、地域の小学校、中学校、高校へ大学の知的財産を還元する。(21～26年度)【107】
年度計画 107	1 ⑥▲ 出前講座を10回以上実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 出前講義は既に11回行っている。 2 3 4

中期計画	⑦ 学校教育現場の意見を反映させるため、定期的に小学校中学校、高校の現場教員等と意見交換ができる体制を整備する。(21～26年度)【108】
年度計画 108	1 ⑦▲ 小中学校、高校の現場教員等との意見交換の場を設定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 SAT運営協議会、教育実習運営協議会をそれぞれ年2回実施。 2 3 4

中期計画	① 教員免許更新制の実施体制を整備すると共に、常に実施体制の見直しを図りつつ受講者のニーズに応じたきめ細かい受講体制の整備に努める。(21～26年度)【109】
年度計画 109	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ 教員免許更新制実施体制の整備を図る。 2 ▲ 受講者へのアンケート調査を実施し、次回講習に活用する。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 学生課内に教職担当を新設。 2 実施科目別に事前、事後アンケート実施済。 3 4

中期計画	② 教育相談体制を整備し、教員免許更新講習の受講者確保に結びつける。(21～26年度)【110】
年度計画 110	<ol style="list-style-type: none"> 1 ②▲ 教員免許更新講習の科目設定に当たり、教育相談内容を反映させる。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員養成カリキュラム委員会で検討中。 2 3 4

中期計画	① 市民の多様な学びの場として多目的な機能を有する大学・地域連携拠点の整備を図る。(21～26年度)【111】
年度計画 111	1 ①▲ 市民の多様な学びの場として多目的な機能を有する大学・地域連携拠点の整備について市と協議する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 随時協議検討を行っている。 2 3 4

中期計画	② 市民を対象とした生涯学習機会の提供、充実を積極的に図るとともに、市民ニーズを調査し、公開講座等の活性化を図る。(21～26年度)【112】
年度計画 112	1 ②▲ 県民コミュニティカレッジ4講座を実施する。 2 ▲ 市民公開講座5講座を実施する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 県民コミュニティカレッジ「文学作品を通して現代日本の諸問題を考える。」をテーマに10月6日から27日までに4回開講し、67名が受講した。 2 市民公開講座 市内小学生親子を対象に夏休み期間中に理科教室を開催。 3 4

中期計画	③ 市民を含む地域利用者の知的要求に応えられるよう、教育研究に支障のない範囲で施設、所蔵図書資料、情報機器等の設備、調査・相談サービスを広く開放する。(21～26年度)【113】
年度計画 113	<ol style="list-style-type: none"> 1 ③▲ 施設市民開放件数延べ10件以上を目指す。 2 ▲ 図書館市民貸出延べ件数350件以上を目指す。 3 ▲ TOEIC市民受験者数延べ150名以上を目指す。 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 10月末現在11件の実績があり、17万円程度歳入されている。11月以降10件程度予約がある。 2 市民貸出延べ件数184件(10月末現在) 3 5/31(実施分55名)、11/29(実施51名)1/31実施予定。 4

中期計画	④ 市民、学生、教員、職員の交流を推進する。(21～26年度)【114】
年度計画 114	<ol style="list-style-type: none"> 1 ④▲ 大学祭(桂川祭)の開催を支援する。 2 ▲ つる子どもまりの開催を支援する。 3 ▲ フィールド・ミュージア・カフェの開催を支援する。 4 ▲ 文大名画座を開催する。▲都留アスリートクラブの活動を支援す。
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学会計から282万円を補助。 2 大学会計から27万円を補助。 3 地域交流研究センター事業として実施済。 4 文大名画座は12月に4回実施済。

中期計画	⑤ 科目履修や、聴講の際の申請手続きを簡略化し、積極的に一般受講者を受け入れる。(21～26年度)【115】
年度計画 115	1 ⑤▲ 市民科目等履修生の受け入れを促進する。 2 ▲ 市民聴講生の受け入れを促進する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 科目履修11名の内、5名。 2 聴講13名の内、5名。 3 4

中期計画	① 行政や市民と教職員との対話の場を設けるなど、市の実状の把握やまちづくり事業等に関する情報の収集に努め積極的に参加する。(21～26年度)【116】
年度計画 116	1 ①▲ 教員の市行政委員会への参画を促進する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 吉住准教授 食育つる推進市民会議会長就任(H20.7～) 高田研教授 都留市エコハウス推進地域協議会会長就任(H21.7～) 平林祐子准教授、泉桂子講師 都留市バイオマ スタウン推進地域協議会委員就任(H21.11～) 鶴田清司教授 介護保険運営委員会委員就任(H19.4～) 11/17市議会と懇談会を実施。 2 3 4

中期計画	② 学生が自主的な活動として行う地域交流、地域貢献に関する支援体制の充実を図る。(21～26年度)【117】
年度計画 117	<ol style="list-style-type: none"> 1 ②▲ 学生の自主的な地域交流、地域貢献活動に対する後援会の助成を実施する。 2 ▲ 「学生チャレンジプロジェクト」により支援を行う。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童文化研究会、つくしの会等のサークル活動に対し後援会から助成金を支給。 2 本学 大学創造支援費に学生の自主活動を支援する予算科目を新設し「学生チャレンジプロジェクト」として公募し、5件の申請があり採択する。 3 4

中期計画	① 海外の大学と人的交流を推進する。(21～26年度)【118】
年度計画 118	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ カリフォルニア大学との交換留学枠の拡大を図る。 2 ▲ ハワイ大学への短期語学研修を開始する。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 留学枠10名を12名に拡大済。 2 H22.3月実施決定。11月9日まで募集。14名応募あり。 3 4

中期計画	② 既存の国際交流・語学研修室の活動の充実を図る。(21～26年度)【119】
年度計画 119	1 ②▲ 既存の国際交流・語学研修室の活動の充実を図る。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 ハワイ大学語学研修開始。高麗大学語学研修検討中。 2 3 4

中期計画	③ 私費外国人留学生の受け入れ体制の改善を図る。(21～26年度)【120】
年度計画 120	1 ③▲ 私費外国人留学生の受け入れ体制の改善を図る。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 授業料減免制度の見直し、一部実施済。 2 3 4

中期計画	④ 小中学生の国際理解教育やホストファミリーの公募などを通じて市民の異文化交流の機会を積極的に設ける。(21～26年度)【121】
年度計画 121	<ol style="list-style-type: none"> 1 ④▲ ホストファミリーを市内外から公募する。 2 ▲ 留学生と市内小中学生との交流の機会を設定する。 3 ▲ ふれあい俳句大会への留学生の出品を促す。 4 ▲ 八朔祭、信玄公祭への留学生の参加を促す。
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 UC留学生ホストファミリー12軒(内、市外2軒) 2 谷二小、禾二小で総合学習時に交流。市内全小学校へ拡大検討中。 3 5/30大会へUC留学生参加。2名入賞。 4 4/26信玄公祭、八朔祭9/1に参加済。

中期計画	① 理事長と学長のリーダーシップが発揮されるよう、機能的な組織を構築する。(21年度)【122】
年度計画 122	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ 理事会、経営審議会、教育研究審議会その他、常任理事会、大学運営会議、法人連絡会議を円滑に運営する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 理事会4回、経営審議会4回、教育研究審議会14回、常任理事会32回(毎月曜日)、大学運営会議(月1～2回)、法人連絡会議(月1回)を開催し、法人、大学運営に関する事項を審議している。(12月末現在) 2 3 4

中期計画	② 理事長及び学長の権限等を明確にするための、規程等の整備を図る。(21年度)【123】
年度計画 123	1 ②▲ 大学規程の整備を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 4月1日の理事会、経営審議会、教育研究審議会において主な規程は審議を経て整備済みである。以後必要な規程等については順次整備を行う。 2 3 4

中期計画	③ 教育研究審議会と教授会の役割分担を明確にするため、規程の整備を行う。(21年度)【124】
年度計画 124	1 ③▲ 教育研究審議会規程、教授会規程を整備する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 教育研究審議会規程、教授会規程制定済。 2 3 4

中期計画	④ 各種委員会を随時見直す。(21～26年度)【125】
年度計画 125	1 ④▲ 各種委員会を随時見直す。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 本年度については、ほぼ前年同様の委員会を設置し、各種業務を行っている。今後は必要に応じ、随時見直しを行う。 2 3 4

中期計画	⑤ 学長を補佐する体制を整備する。(21年度)【126】
年度計画 126	1 ⑤▲ 学長補佐3名(評価担当、学生担当、教務担当)を設置する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学長補佐3名設置済。(評価担当 樋渡教授 ・ 学生担当 大平教授 ・ 教務担当 鈴木教授) 2 3 4

中期計画	① 機動的・戦略的な運営組織を構築する。(21年度)【127】
年度計画 127	1 ①▲ 理事会、経営審議会、教育研究審議会その他、常任理事会、大学運営会議、法人連絡会議、経営企画室、評価室、監査室を設置する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 理事会、経営審議会、教育研究審議会、常任理事会、大学運営会議、法人連絡会議、経営企画室、評価室、監査室設置済。 2 3 4

中期計画	② 部局の意見が大学運営に反映される体制を整備する。(21年度)【128】
年度計画 128	1 ②▲ 教育研究審議会、法人連絡会議を設置する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 教育研究審議会、法人連絡会議設置済。 2 3 4

中期計画	① 役員に、学外の人材を登用する。(21年度)【129】
年度計画 129	1 ①▲ 学外理事(市民代表者、経営精通者)、経営審議会学外委員(同窓会代表)の参画を図る。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学外理事2名、経営審議会学外委員1名を任命。 2 3 4

中期計画	② 経営審議会及び教育研究審議会に学外の有識者を活用する。(21～26年度)【130】
年度計画 130	1 ②▲ 学外理事(市民代表者、経営精通者)、経営審議会学外委員(同窓会代表)の参画を図る。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学外理事2名、経営審議会学外委員1名を任命。 2 3 4

中期計画	③ 学外の有識者の知識、経験を大学運営に活用する。(21～26年度)【131】
年度計画 131	<ol style="list-style-type: none"> 1 ③▲ 市民代表の非常勤理事、大学同窓会役員の経営審議会委員への任命を行う。 2 ▲ 市、議会、市民との懇談会を実施する。 3 ▲ 理事長、学長の諮問機関の設置を検討する。 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 学外理事2名、経営審議会学外委員1名を任命。 2 11月17日に大学と市議会の意見交換会を開催。 3 理事長、学長の諮問機関は未設置であるが、今後必要性の有無も含めて検討する。 4

中期計画	① 監査室を設置し、計画的に監査を実施する。(21～26年度)【132】
年度計画 132	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①▲ 監査室を設置し、定期監査を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 監査室設置済。監査計画書に基づき11月11日に監事による業務、会計に関する定期監査を実施。 2 3 4

中期計画	② 監査法人による監査を実施する。(21～26年度)【133】
年度計画 133	1 ②▲ 公認会計士による監査を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 地方独立行政法人法に定める監査人は必置ではないので、本学は監査人を設置していない。しかし、会計業務に関し、助言を求めため監査法人に指導業務を依頼している。 2 3 4

中期計画	③ 監査業務に従事する職員の専門性の向上を図る研修機会を設ける。(21～26年度)【134】
年度計画 134	1 ③▲ 監査室職員の研修を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 監査室職員の研修は、未実施。今後積極的に研修等を実施するとともに部外研修会に参加することとする。 2 3 4

中期計画	① 教員養成系大学としての個性化を促進する方向性で、学部学科、研究科の在り方について検討する。(21～26年度)【135】
年度計画 135	1 ①▲ 学部学科、研究科の在り方について検討する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 政権交代等による文科省の動向に注視し、状況把握に努めている。 2 3 4

中期計画	② 附属機関の在り方について検討、見直しを行う。(21～26年度)【136】
年度計画 136	1 ②▲ 附属機関の在り方について検討、見直しを行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 付属機関のあり方について検討、見直しを行う。 2 3 4

中期計画	① 理事長及び学長のリーダーシップのもと戦略的、計画的に職員の人事配置を行う。(21～26年度)【137】
年度計画 137	1 ①▲ 教職員の人事配置計画(6年間)を策定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 教職員の人事配置計画(6年間)は策定済み。 2 3 4

中期計画	① 教員の人事及び評価については、教育研究審議会において審議の上、理事会で決定する。(21年度)【138】
年度計画 138	1 ①▲ 教員の人事及び評価については、教育研究審議会において審議の上、理事会で決定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 プロジェクトチームを設置し、先進大学の事例等について調査、研究を行う。 2 3 4

中期計画	② 公募制を原則とした教員選考を行う。(21～22年度検討、23年度実施)【139】
年度計画 139	1 ②▲ 教員選考規程及び教員選考委員会規程を整備する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 整備済み。 2 3 4

中期計画	③ 任期制の導入を検討するなど、雇用形態を多様化する。(21～22年度検討、23年度実施)【140】
年度計画 140	1 ③▲ 任期制の導入について検討する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 特任教員に関する規程を整備し、専門性を持った人材の任期付き雇用を図ることとした。 2 3 4

中期計画	① 職員の人事及び評価については、経営審議会において審議の上、理事会で決定する。(21年度)【141】
年度計画 141	1 ①▲ 職員の人事及び評価については、経営審議会において審議の上、理事会で決定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 事務職員の人事及び評価については、今後年度末に向け実施することになる。 2 3 4

中期計画	② 市と協議しながら、計画的に大学固有の職員を採用し、養成していく。(21～26年度)【142】
年度計画 142	1 ②▲ 市と協議しながら、計画的に大学固有の職員を採用し、養成していく。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 市の職員採用計画、市からの派遣職員数との調整を図りつつ、大学固有の職員を採用することとし、10月から11月にかけて事務職員採用試験を実施。平成22年4月1日付け1名を採用予定。 2 3 4

中期計画	③ 市からの派遣職員は段階的に縮小し、平成26年度末までには、必要最少限とする。(21～26年度)【143】
年度計画 143	1 ③▲ 市からの派遣職員は段階的に縮小する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 平成21年度における市からの派遣職員数33名。大学固有職員の採用数と調整しつつ段階的に派遣職員を減じることとしている。平成22年4月1日付け1名のプロパー職員採用予定。 2 3 4

中期計画	① 教職員の業績評価システムを確立し、給与に反映させる。(21～26年度)【144】
年度計画 144	1 ①▲ 教職員の業績評価システムの調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 事務職員については、市の職員評価システムに準じ評価を行う。教員については、10月28日開催のFD評価研修会の中で教員評価について研修を受けるなど、FD委員会で評価導入の可否も含めて検討を進めている。 2 3 4

中期計画	① 男女共同参画に配慮し、教職員等の男女比率の適正化に努める。(21～26年度)【145】
年度計画 145	1 ①▲ 安全・安心な職場環境の維持に努める。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 職員の福利厚生に努める。 2 3 4

中期計画	② 労働基準法及び地方独立行政法人法に照らして学内諸規程を整備、改善する。(21年度)【146】
年度計画 146	1 ②▲ 労働基準法及び地方独立行政法人法に照らして学内諸規程を整備、改善する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 就業規則、給与規程等、労働基準法、地方独立行政法人法に基づく規程は整備済み。必要に応じ改定を行う。 2 3 4

中期計画	① 労働安全衛生法等に基づく安全衛生管理について、学内外に周知、公表する。(平成21年度)【147】
年度計画 147	1 ①▲ 労働安全衛生法等に基づく安全衛生管理について、学内外に周知、公表する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 職員労働安全衛生規程は整備済み。衛生管理者、産業医を任命済み。今後衛生委員会を定期的開催し、安全衛生管理について学内外に周知、公表を予定している。 2 3 4

中期計画	② 学生、教職員の定期健康診断を実施する。(21～26年度)【148】
年度計画 148	1 ②▲ 学生、教職員の定期健康診断を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 教職員、定期健康診断は、10月上旬から中旬にかけて都留市立病院で実施。受診できなかった者については、人間ドック等の受信を義務付けている。学生定期健診受診率80.2%(前年度83.1%) 2 3 4

中期計画	③ 教職員及び学生を対象とした普通救命講習等を実施する。(21～26年度)【149】
年度計画 149	1 ③▲ 教職員及び学生を対象とした普通救命講習等を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 10月29日、学生、教員、事務職員を対象に都留市消防本部から救急救命士を講師に招きAED取扱講習会を開催した。参加者35名。 2 3 4

中期計画	① 事務職員の専門性を高めるためSD(スタッフ・ディベロップメント)を推進する。(21～26年度)【150】
年度計画 150	1 ①▲ 事務職員のSDを実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 事務職員は、専門性向上のため、会計研修、財務研修、人事研修、給与事務研修等に参加している。 2 3 4

中期計画	② 効率的・効果的な事務処理体制を整備するため、事務組織の見直しを行う。(21～26年度)【151】
年度計画 151	1 ②▲ 事務組織の見直しを実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 事務の標準化、集中化等の調査研究を図り、現状の事務体制の見直しを行う。 2 3 4

中期計画	③ 費用対効果を考慮しながら、外部委託や人材派遣等アウトソーシングを活用する。(21～26年度)【152】
年度計画 152	1 ③▲ 外部委託や人材派遣等アウトソーシングを活用する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 現状の事務及び人的体制を検証し、外部委託や人材派遣等の活用の可能性について検討する。 2 3 4

中期計画	① 事務組織全体について、事務の標準化、集中化等により効率的な事務体制を確立するとともに、継続的な見直しを実施する。(21～26年度)【153】
年度計画 153	1 ①▲ 事務の標準化、集中化を図る。 2 ▲ 事務体制の見直しを行う。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 事務の標準化、集中化等の調査・研究班の設置を図る。 2 現状の事務体制の見直しに向けた調査・研究班の設置を図る。 3 4

中期計画	① 運営費交付金は、市が定める算定基準(①標準運営費交付金、②特定運営費交付金、③施設整備費等補助金)の範囲内で大学を運営する。ただし、「自己収入の増加」や「経費の抑制」をさらに推進し、①と②のうち、経営努力として市長から認定された利益については、理事長・学長に裁量経費枠を設けるなど、自主・自立的な経営を行う。(21～26年度)
年度計画 154	1 ①▲ 経営努力として市長から認定された利益については、理事長・学長に裁量経費枠を設けるなど、自主・自立的な経営を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 運営費交付金の範囲内での大学経営に努め、「自己収入の増加」や「経費の抑制」をさらに推進し、経営努力として市長から認定された利益については、理事長・学長に裁量経費枠を設けるなど、自主・自立的な経営を行う。 2 3 4

中期計画	① 学生納付金について、社会情勢等も見定めつつ適切な料金を随時検討する。(21～26年度)【155】
年度計画 155	1 ①▲ 学生納付金について、社会情勢等も見定めつつ適切な料金を随時検討する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学生納付金に関しては、法人が上限を定め、市議会の議決を経て設立団体の長が認可することとなっている。学生納付金については、経済状況によって学生の進学機会を奪うこととならないよう将来にわたり適正な金額水準を維持することとしている。平成22年度見直す必要なし。 2 3 4

中期計画	② 外部資金については、情報収集や申請の補助体制など、その獲得のための体制を整備する。(21～22年度)【156】
年度計画 156	1 ②▲ 外部資金の情報をメール配信する。 2 ▲ 科学研究費補助金の情報をメール配信する。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 文部科学省、公立大学法人等からの情報について、学内ポータルサイトに掲載し、教員に周知している。 2 文部科学省、公立大学法人等からの情報について、学内ポータルサイトに掲載し、教員に周知している。 3 4

中期計画	③ 科学研究費の申請率を高める。(平成26年度常勤教員80%以上)【157】
年度計画 157	1 ③▲ 科学研究費の申請率を高める。(平成21年度55%) 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 科学研究費申請者に対し、大学独自の補助制度を導入申請を促す。(本年度から実施してる。)本年度35名(分担者含む)が申請45% 2 3 4

中期計画	④ 知的財産の活用など多様な収入源の確保に努める。(21～26年度)【158】
年度計画 158	1 ④▲ 知的財産による収入源の確保策について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 現状知的財産による収入は見込めないが、今後調査検討を進めることとしている。 2 3 4

中期計画	⑤ 知的財産(特許等)の獲得に対する支援を行う。(21~26年度)【159】
年度計画 159	1 ⑤▲ 知的財産(特許等)について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 現状知的財産による収入は見込めないが、今後調査検討を進めることとしている。 2 3 4

中期計画	① 経費削減計画を毎年作成し、実施する。(21~26年度)【160】
年度計画 160	1 ①▲ 経費削減計画を作成し、実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 経営効率化プロジェクトを設置し検討を開始した。 2 3 4

中期計画	② 教職員のコスト意識を高める。(21～26年度)【161】
年度計画 161	1 ②▲ 財務経営状況についての研修を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 公立大学協会が開催する財務研修に積極的に参加している。本年度法人会計セミナー参加者4名、地方財政研修2名、法人財務経営セミナー1名参加。 2 3 4

中期計画	③ 業務の合理化を徹底する。(21～26年度)【162】
年度計画 162	1 ③▲ 業務の合理化を徹底する。 2 ▲ 図書館図書と研究室図書との収集基準の確立をめざす。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 資産としての図書の取扱基準を明確にし、図書館と研究室で重複した購入がないよう教員への周知を徹底する。 2 3 4

中期計画	① 保有する資産を有効かつ効率的に活用する。(21～26年度)【163】
年度計画 163	1 ①▲ 保有する資産の活用方法について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 固定資産使用規程を整備し、施設の有効利用を図っている。 2 3 4

中期計画	② 知的財産、学内施設・設備等の活用を進める。(21～26年度)【164】
年度計画 164	1 ②▲ 知的財産(特許等)について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 現状知的財産による収入は見込めないが、今後調査検討を進めることとしている。 2 3 4

中期計画	③ 安全かつ効率的な資金の運用管理を行う。(21~26年度)【165】
年度計画 165	1 ③▲ 資金運用管理について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 地方独立行政法人法に基づき適切な資金運用をすることとしている。現状資金運用ができる程の余裕金は発生していない。 2 3 4

中期計画	① 剰余金については、その増額に向け、経費削減に努める。(21~26年度)【166】
年度計画 166	1 ①▲ 経費節減を徹底する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 経営効率化プロジェクトを立ち上げ経費節減策について協議を進めている。 2 3 4

中期計画	② 剰余金が生じた場合には、教育研究の充実発展に向けて新たな戦略的事業などを展開する。(21～26年度)【167】
年度計画 167	1 ②▲ 剰余金が生じた場合には、教育研究の充実発展に向けて新たな戦略的事業などを展開する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 中・長期的に健全かつ安定的な財政計画を構築、また教育研究の充実発展を図るため、余剰金処分については決算時に適切に対応する。 2 3 4

中期計画	① 自己点検・評価を計画的に実施し、その結果を公表する。(21～26年度)【168】
年度計画 168	1 ①▲ 自己点検・評価を実施し、結果を公表する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 評価委員会、FD委員会において検討中。 2 3 4

中期計画	② 外部評価を3年に一度実施し、その結果を公表する。(21～26年度)【169】
年度計画 169	1 ②▲ 外部評価を実施し、その結果を公表する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 大学基準協会の認証評価(平成22年1月、事前申請、22年4月本申請、22年末に認可)を受ける事となっており、教員、職員において資料を作成し、平成22年1月7日に事前申請を行った。 2 3 4

中期計画	③ 平成22年度に認証評価機関による認証評価を受け、その評価結果を公表する。(21～23年度)【170】
年度計画 170	1 ③▲ 大学基準協会による認証評価の準備を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 大学基準協会の認証評価(平成22年1月、事前提出、22年4月本申請、22年末に認可)を受ける事となっており、現在、教員、職員とも資料作成に取り組んでいる。 2 3 4

中期計画	④ 評価結果を大学運営の改善と教育研究等の改善に反映させる。(23～26年度)【171】
年度計画 171	1 ④▲ PDCAサイクルの実現に向け調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 その予定で進めることとしている。 2 3 4

中期計画	① 施設の効率的な維持・管理を行う。(21～26年度)【172】
年度計画 172	1 ①▲ 施設の効率的な維持・管理を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 定期的な保守、修繕等を実施している。 2 3 4

中期計画	② 中長期的な展望に立ち、快適な学習環境と豊かな自然環境との調和・共生をテーマとしたキャンパスづくりを行う。(21～26年度)【173】
年度計画 173	1 ②▲ 図書館前ビオトープの保全、活用を図る。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 授業の中でビオトープ管理の基礎を学び、観察、展示、活動を行い。市民も観察会に参加できるようにする。 2 3 4

中期計画	③ 計画的な施設設備の整備・改修を行う。(21～26年度)【174】
年度計画 174	1 ③▲ 施設整備計画(6年間+6年間)を策定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 施設整備計画策定検討プロジェクトを設置し検討中。 2 3 4

中期計画	④ 施設の有効活用を進める。(21～26年度)【175】
年度計画 175	1 ④▲ 施設の有効活用について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 施設整備計画策定検討プロジェクトを設置、有効活用についても併せて検討中。 2 3 4

中期計画	⑤ 学生の休憩室、学習室を整備する。(21年度調査・検討、22年度～26年度整備)【176】
年度計画 176	1 ⑤▲ 学生の休憩室、学習室の整備について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 未検討、スペースの確保等、調査検討する。 2 3 4

中期計画	⑥ 学生食堂のリニューアルを行うとともに、メニューや料金について学生の意見を取り入れながら改善を図る。(21～26年度。学食改修は22年度)【177】
年度計画 177	1 ⑥▲ 学生食堂リニューアルの調査・検討を行う。 2 ▲学食メニュー、料金等の改善を行う。 3 4
平成21年度 進捗状況	1 学生食堂リニューアルの調査・検討中。 2 学生自治会アンケートを基に料金改定を実施。学食請負業者と定期的な協議を持ち検討することとしている。 3 4

中期計画	① 全学的な危機管理体制を整備する。(21年度)【178】
年度計画 178	1 ①▲ 全学的な危機管理マニュアルを見直す。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 これまで市の各計画に組み込まれる型で危機管理は、事務職員のみで体制が整備されていた。早急に大学独自のマニュアルを作成する。 2 3 4

中期計画	② 適切な防災・防犯対策を講じる。(21年度)【179】
年度計画 179	<ol style="list-style-type: none"> 1 ②▲ 防災訓練、AED講習を実施する。 2 ▲ 新入生歓迎会において防犯講習を実施する。 3 ▲ 学内オリエンテーション時に防犯講習を実施する。 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 10/8 教職員を対象に屋内消火栓を使用した放水訓練及び本部棟エレベーターを使用し停電時におけるエレベーターからの救出訓練を実施した。併せてAED講習会を実施。 2 4/11 新入生歓迎会時 大月警察署担当者による防犯講習会を実施済。 3 12/14.15 2日間に分け大月警察署担当者による女子学生向け防犯講習会を実施済。防犯グッズを無償配布。 4

中期計画	③ 人権侵害を防止するため、全学的に取り組む体制を整備するとともに、定期的に研修を行う。(21～26年度)【180】
年度計画 180	<ol style="list-style-type: none"> 1 ③▲ 人権委員会を設置する。 2 ▲ 人権侵害に係る研修を実施する。 3 4
平成21年度 進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 各委員会の一つとして、人権委員会を設置済である。 2 未実施 3 4

中期計画	① 積極的な情報公開を推進する。(21～26年度)【181】
年度計画 181	1 ①▲ ホームページの全面更新について調査・検討を行う。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 広報委員会内に設置されているホームページ検討委員会で調査、検討中。 2 3 4

中期計画	② 情報公開については、都留市情報公開条例に基づき、関係規程を整備し、情報公開請求に適切に対応する。(21年度規程整備、21～26年度)【182】
年度計画 182	1 ②▲ 情報公開規程を整備する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 市の情報公開条例に基づく関係規定を調査、制定する。 2 3 4

中期計画	① 個人情報の保護について取り扱いの適正化に努める。(21～26年度)【183】
年度計画 183	1 ①▲ 個人情報の保護に関する教職員研修を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 FD研修、SD研修を通じて「個人情報の保護」に関する研修を22年度中に行う。 2 3 4

中期計画	② 個人情報保護体制を充実する。(21～26年度)【184】
年度計画 184	1 ②▲ 情報セキュリティ・マニュアルを作成し、全教職員に配布する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 情報センターを中心にマニュアル作成の準備を進める。 2 3 4

中期計画	③ 都留市個人情報保護条例に基づき、関係規程や管理体制を整備し、適正な個人情報保護を行う。(21年度規程整備、21～26年度)【185】
年度計画 185	1 ③▲ 個人情報保護規程を整備する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 現状市の条例を準用しているが、早急に大学独自の規程を整備することとする。 2 3 4

中期計画	① 環境負荷の低減や循環型社会の実現に寄与する活動を推進する。(21～26年度)【186】
年度計画 186	1 ①▲ 市環境基本計画に則り、地球温暖化防止のためのCO2削減個別目標値の実現を図る。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 市環境保全市民会議に大学職員も参加しており、市全体の枠組みの中、大学の目標値を定め削減策を講じることとする。 2 3 4

中期計画	② 廃棄物の適正管理を徹底する。(21～26年度)【187】
年度計画 187	1 ②▲ 廃棄物の適正管理を徹底する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 分別の徹底を図るとともに、収集については処理業者に委託し、管理している。 2 3 4

中期計画	③ 廃棄物削減計画を策定し、効果的に実施する。(21年度計画策定、21～26年度)【188】
年度計画 188	1 ③▲ 廃棄物削減計画を策定する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 現状の廃棄物の量を精査し、削減計画の策定に向け検討することとしている。 2 3 4

中期計画	④ 学生・教職員に分別回収の徹底を図り、資源の再利用を図る。(21～26年度)【189】
年度計画 189	1 ④▲ 卒業時の不用品リサイクル活動を支援する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 不用品リサイクル活動に伴う場所の提供、処理業者への委託料を予算化し、支援することとしている。 2 3 4

中期計画	⑤ 学生や市民等を対象に環境教育を実施する。(21～26年度)【190】
年度計画 190	1 ⑤▲ 県民コミュニティカレッジ、市民公開講座等を活用し学生や市民に対し環境教育を実施する。 2 3 4
平成21年度 進捗状況	1 平成22年2月20日 地域交流研究センター主催のフォーラム「持続可能な社会とフィールド・ミュージアム」開催予定。 2 3 4